

香川県小学校社会科教育研究会
研究フォーラム2021

全体提案

令和4年2月19日
オンライン

香川大学教育学部附属高松小学校
教諭 轟 秀明

香社研のこれまでの研究の経緯

【内容研究として】

- 社会認識の系列化
- 人間環境を見つめた学習
- 社会認識をひらく
(地理的・歴史的・公民的内容)

- 一単位時間の学びの過程を類型化
- 特色ある学校づくりという視点を取り入れ、教育課程における社会科の位置づけや社会科と他教科等との関連を図る研究に発展し、カリキュラム・マネジメントを意識した研究

【方法研究として】

- 経験学習(地域課題)と問題解決学習
- 学習構造化論(学習構造と思考構造)
問題解決的思考
- 典型学習論
- 問いと論証の調べ学習、
思考力・表現力の育成
- 特色ある教育課程
- 基礎・基本の定着と発展の学習
- 学びの過程と社会科ノートづくり
- 社会に開かれた教育課程

教育の不易と流行

継承と発展

多様な他者とともに、これからの時代を
主体的に生き抜くための**社会形成力を育てる**
社会科学習の創造

～公民としての資質・能力の基礎をはぐくむ学習論の再構築～

研究主題設定の理由

主題設定の理由

前 学習指導要領における課題

主体的に
社会の形成に参画しようとする態度等の育成



将来の予測をすることが難しい時代において、
社会の形成者として現代的な諸課題に対し、
社会の一員として課題に向き合い、
よりよい社会や人生の創り手となること

研究主題設定の理由

社会科教育のねらい

「公民的資質の基礎を養う」

社会科教育のねらい

「公民的資質の基礎を養う」



グローバル化する国際社会に
主体的に生きる平和で民主的
な国家及び社会の形成者に
必要な公民としての
資質・能力の基礎の育成

研究主題設定の理由

様々に複雑な条件が絡み合っている
集団や社会を**多角的に認識し、**
そこに生じている**諸問題を解決し、**
より望ましい社会を創っていく資質・能力

社会に開かれた資質・能力

未来志向的資質・能力

社会形成力

社会形成力とは

現代社会にあって、

- 将来どのような集団や社会にしたいかという見通しをもち
(未来志向的な学びの視点)
- 科学の論理や既有知識及び経験をもとに集団や社会の中で
何ができるかを他者との関わりの中で考え
(社会に開かれた学びの視点)
- 自己の社会的立場や役割を自覚し、それに基づき行動できる
未来志向的かつ社会に開かれた資質・能力
(学習指導要領の3観点)

研究主題について

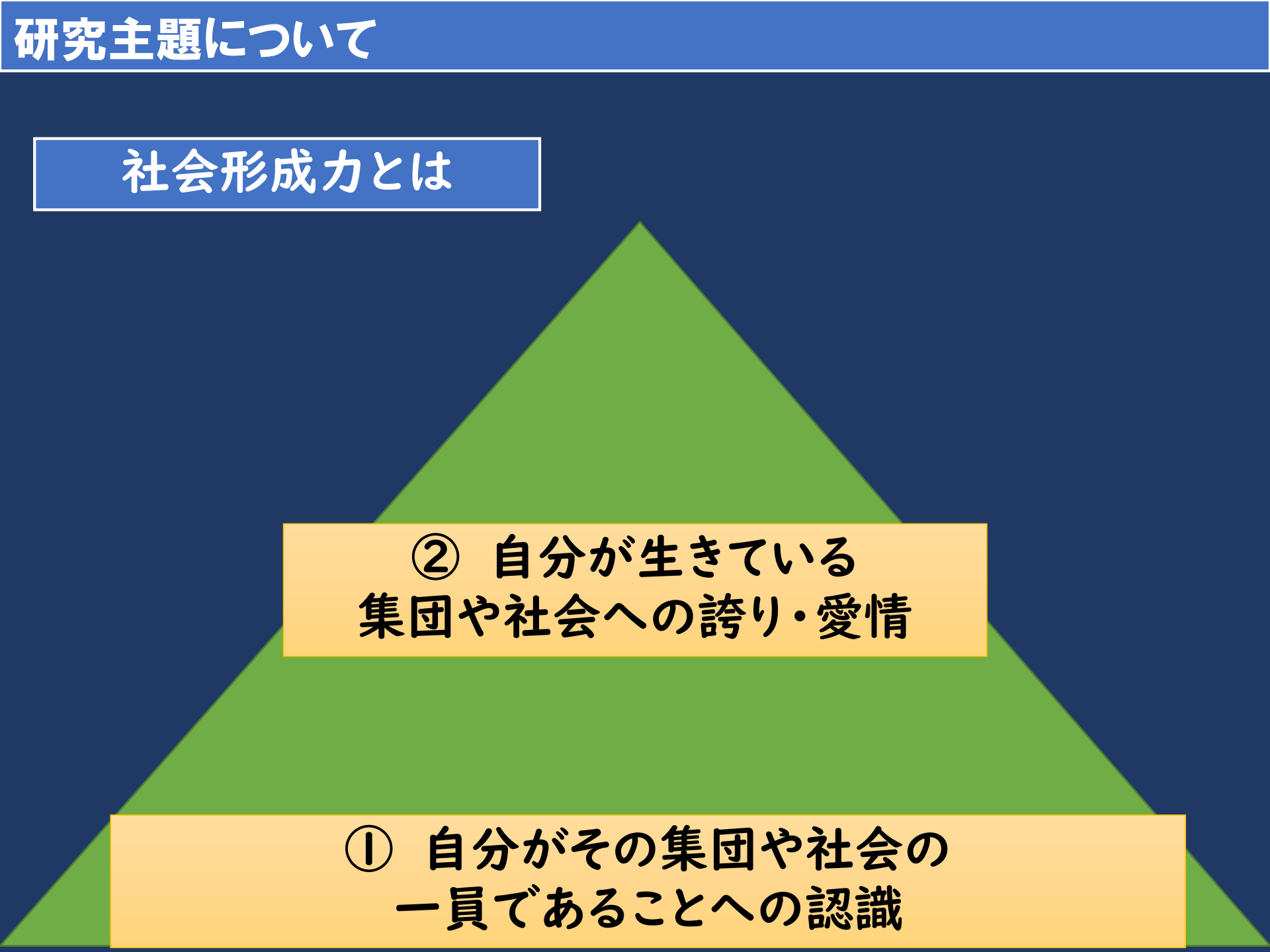
社会形成力とは



社会形成力とは

- 
- ① 自分がその集団や社会の一員であることへの認識

社会形成力とは



② 自分が生きている
集団や社会への誇り・愛情

① 自分がその集団や社会の
一員であることへの認識

社会形成力とは

③ 自分が生きている集団や社会の
発展に尽くそうとする力

② 自分が生きている
集団や社会への誇り・愛情

① 自分がその集団や社会の
一員であることへの認識

社会形成力とは

③ 自分が生きている集団や社会の
発展に尽くそうとする力

見方・考え方

② 自分が生きている
集団や社会への誇り・愛情

見方・考え方

① 自分がその集団や社会の
一員であることへの認識

研究主題について

社会形成力の育成

公民としての資質・能力の基礎の育成

中学校社会科
目標、見方・考え方

小学校社会科
目標、見方・考え方

生活科
目標、見方・考え方

幼児期
育って欲しい10の姿、見方・考え方

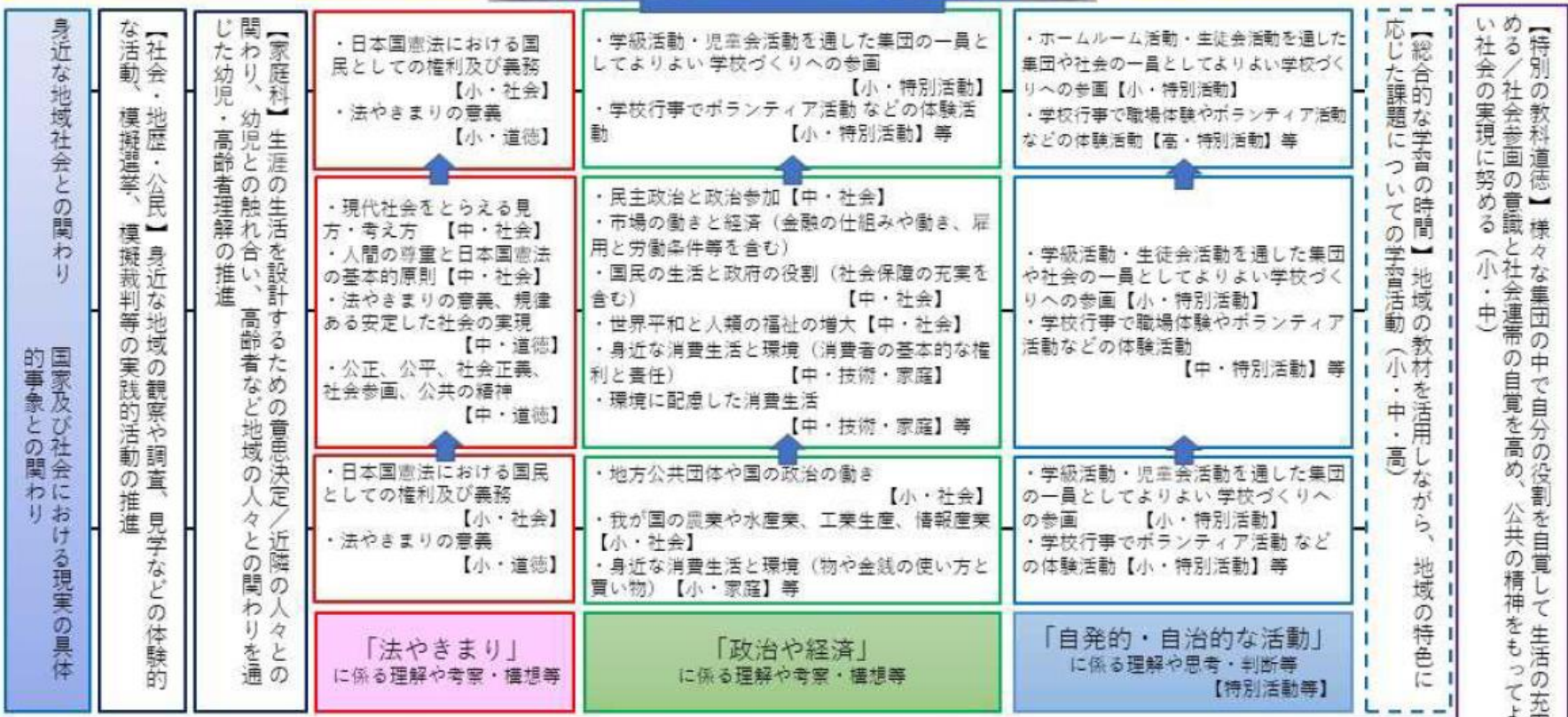
研究主題について(縦の系統から)

公民として必要な力を育む教育のイメージ 教科等横断的な視点から教育課程を編成

＜主権者として必要な資質・能力＞
社会の基本原則となる法やきまりについての理解を前提に、政治的主体、経済的主体等やその複合的な主体に必要な知識を習得させるのみならず、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

国家及び社会の形成者として主体的に参画しようとする資質・能力の育成

家庭・地域と連携した公民としての資質・能力育成の推進



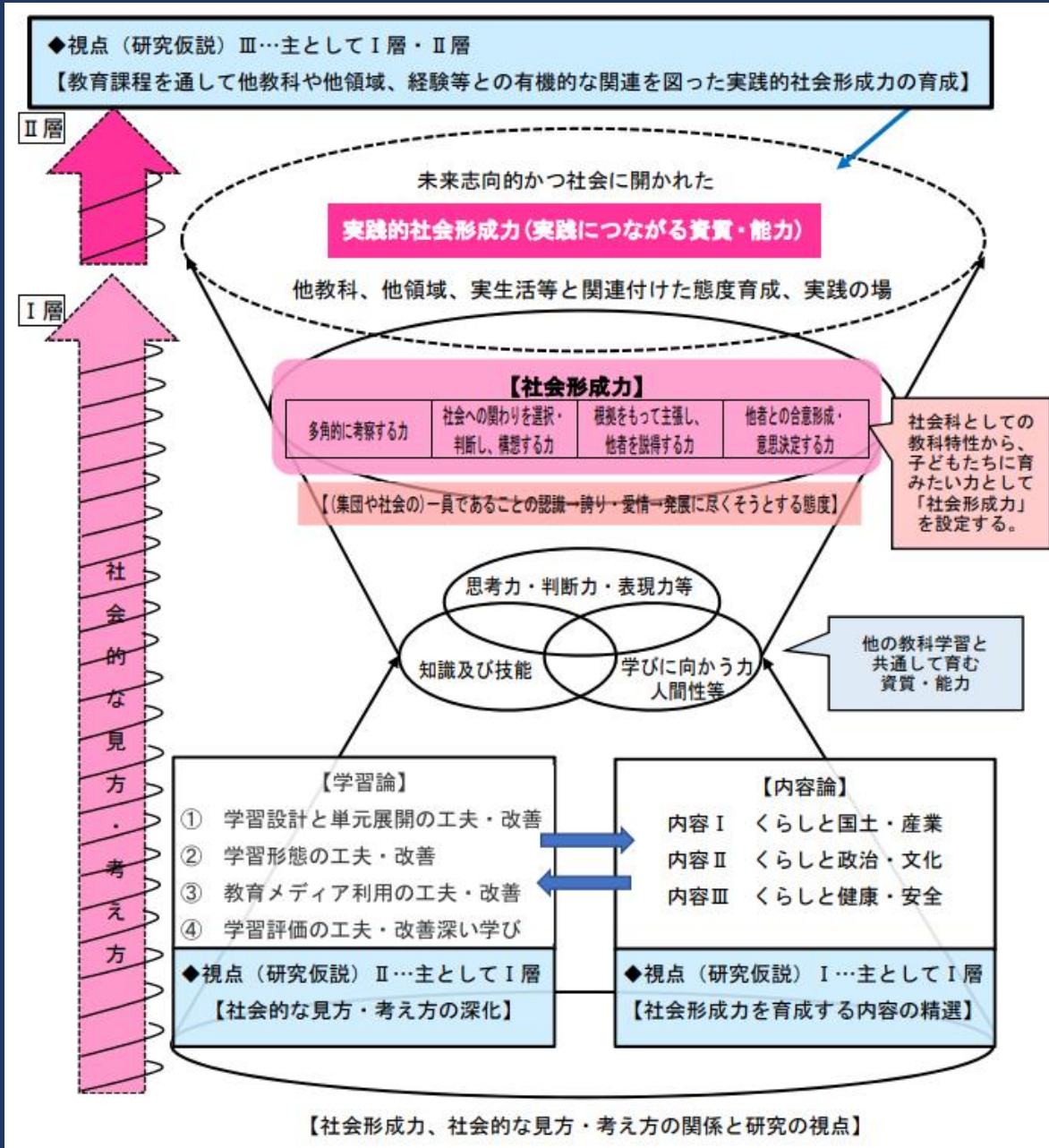
【生活科】集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができる／自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域の良さに気づき、愛着をもつ

【幼児教育】きまりの大切さに気付き守ろうとする／地域の人々などに親しんだり、地域の催しや公共施設など生活に関係の深い情報や施設などに興味・関心をもつ

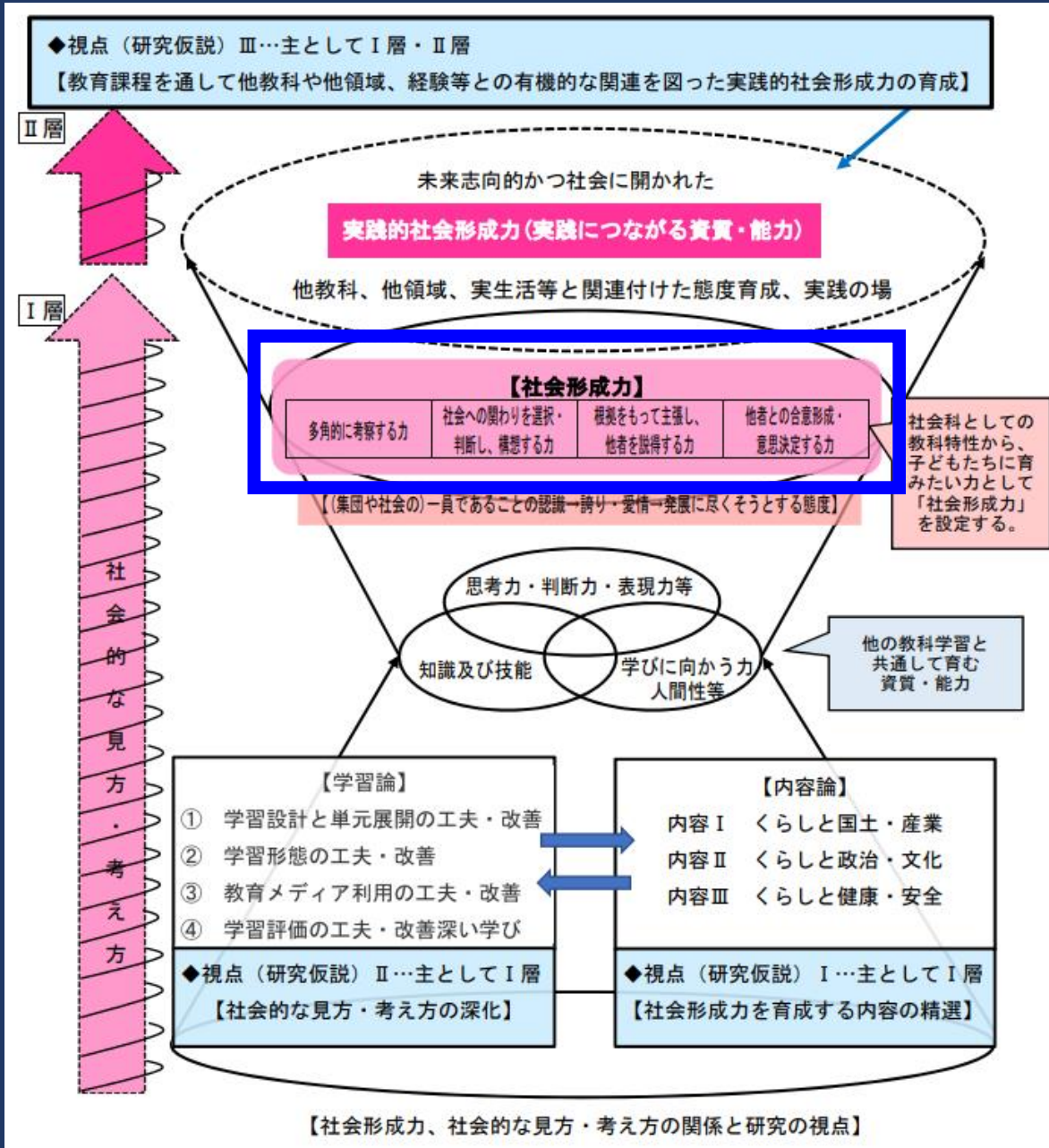
【特別の教科道徳】様々な集団の中で自分の役割を自覚して生活の充実に努める／社会参画の意識と社会通帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める（小・中）

【総合的な学習の時間】地域の教材を活用しながら、地域の特色に応じた課題についての学習活動（小・中・高）

研究内容(全体構想)



研究内容(全体構想)



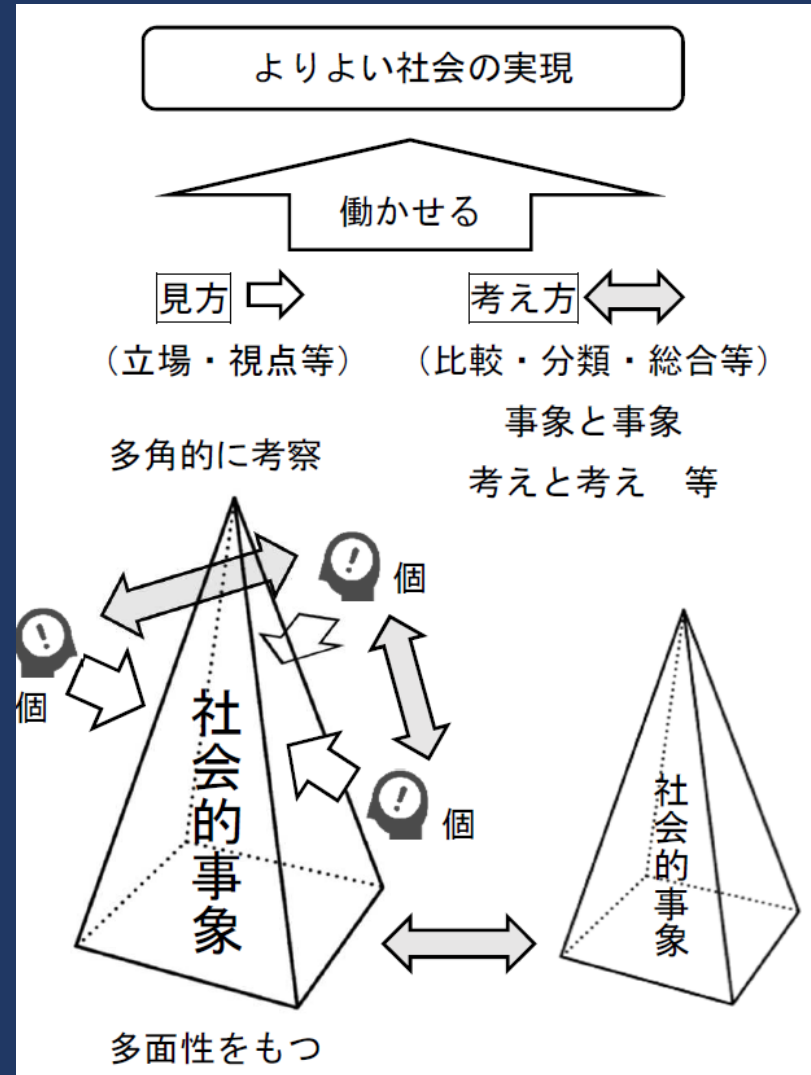
社会形成力の要素

- ① 多角的に考察する力
- ② 社会への関わりを選択・判断し、構想する力
- ③ 根拠をもって主張し、他者を説得する力
- ④ 他者との合意形成・意思決定する力

「社会形成力につながる資質・能力」

① 多角的に考察する力

複雑に組み合わさっている、
多面性をもっている社会的事象を、
社会的な見方・考え方を働かせて、
多面的な側面を多角的に考察
(比較・分類・総合等)し、
社会のあるべき姿、
よりよい社会形成に向けて、
自分なりに構想するための
根拠を見出す力

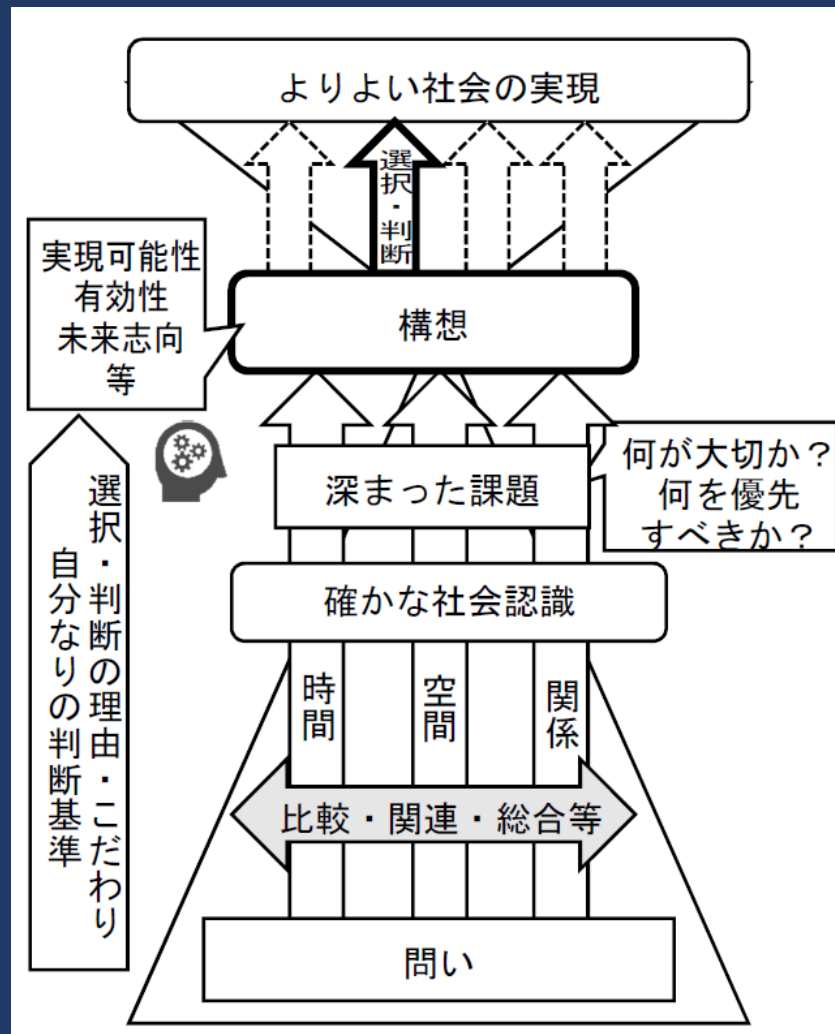


「社会形成力につながる資質・能力」

② 社会への関わりを選択・判断し、構想する力

社会的事象の仕組みや働きを学んだ上で、
習得した知識などの中から
自分たちに協力できることを選び出し、
自分の意見や考えとして決めるなどして
判断すること。

私たちはどうすればよいか、
何を優先すべきかなどの問い
(深まった課題)を設け、
自分たちの立場を踏まえ、
自分にできることを考えたり、
事象の新たな価値や意味を見出したり、
よりよい社会の在り方を考えたりする力



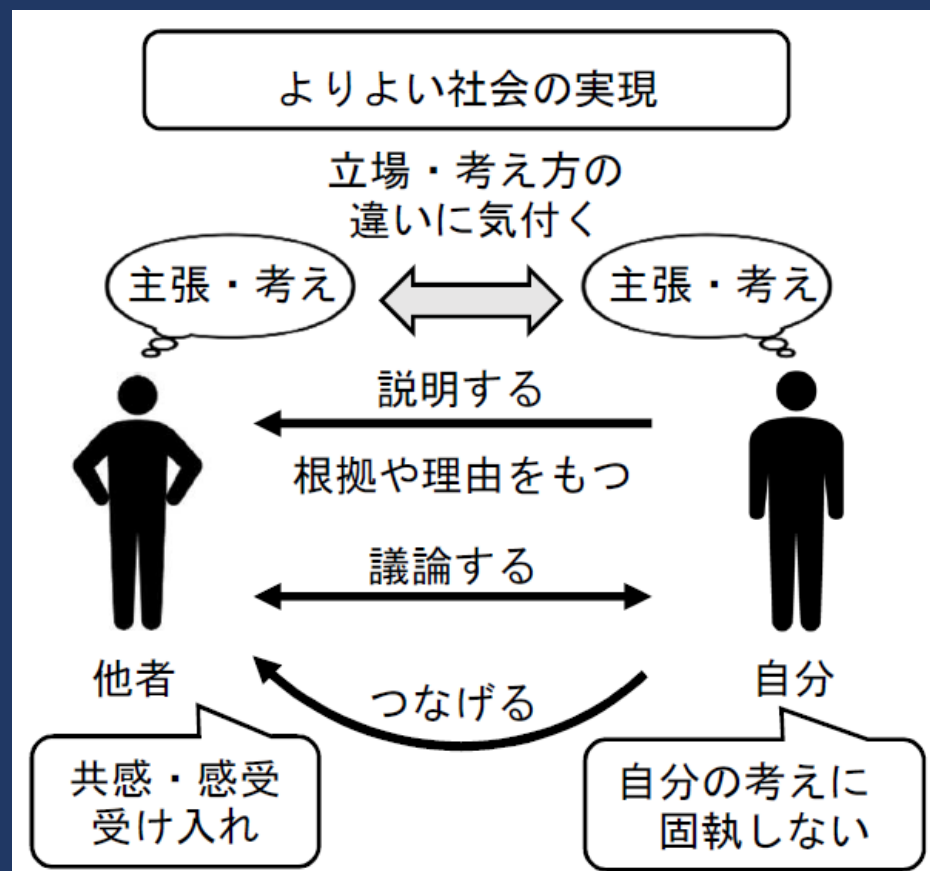
「社会形成力につながる資質・能力」

③ 根拠をもって主張し、他者を説得する力

考えたことや選択・判断したことを説明する力、議論する力のこと。

説明するとは、
根拠や理由を明確にして、
調べて理解したことや
それに対する自分の考えなどを
論理的に説明すること。

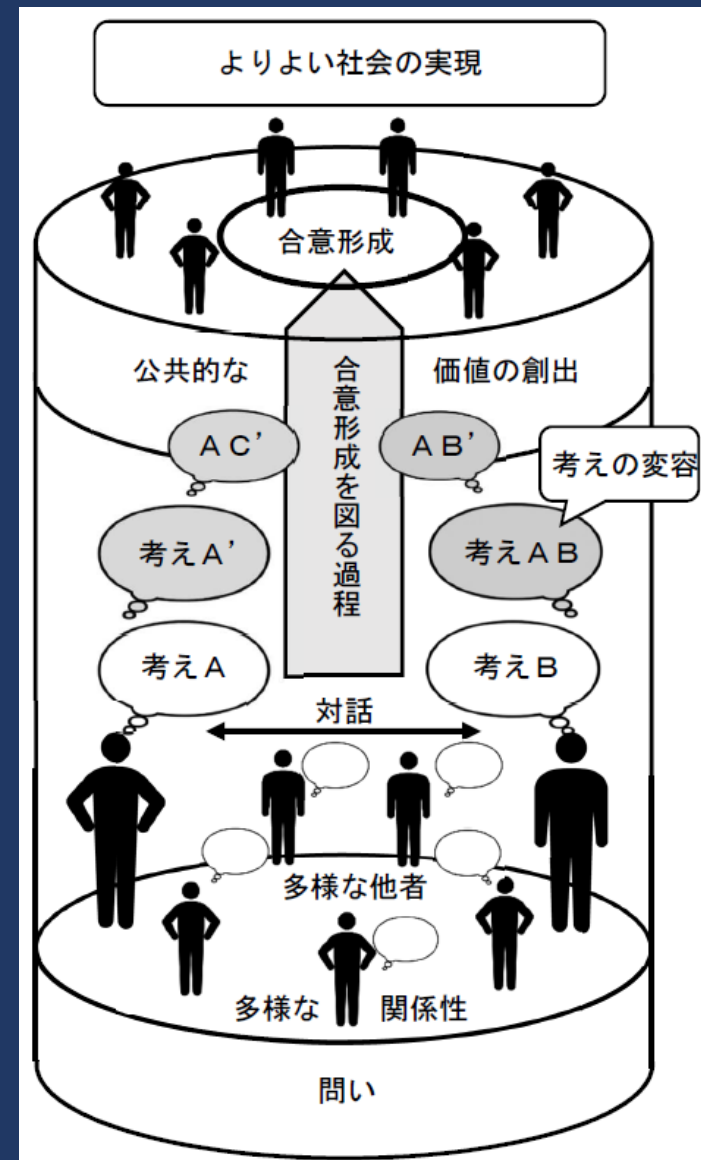
議論する力とは、
互いに自分の主張を論じ合うこと
自己の主張に固執するのではなく、
他者の主張につなげたり、
互いの立場や根拠を明確にして
議論したりして、
自分の考えを主張すること
＝他者を説得する力



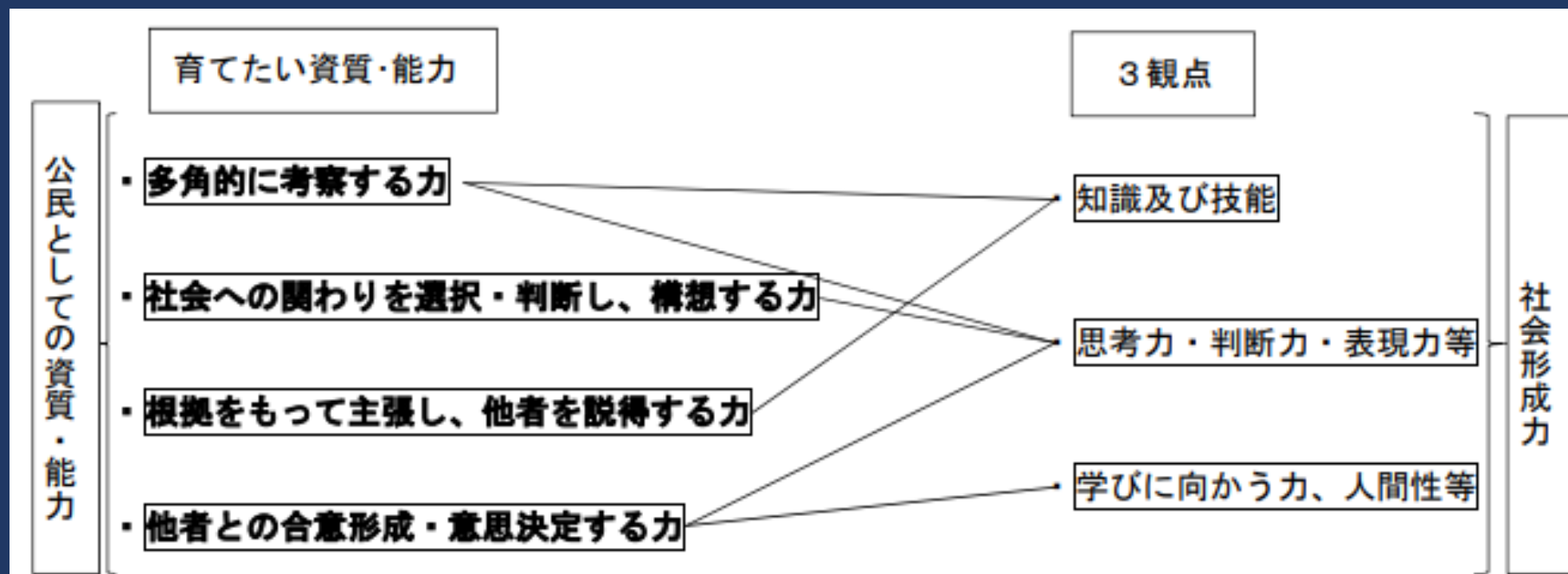
「社会形成力につながる資質・能力」

④ 他者との合意形成・意思決定する力

合意形成を図る過程により、
社会形成の観点から、
公共的な価値の創出も可能となり、
社会的事象の意味をより
客観的に捉えることができる。



社会形成力と3観点とのつながり



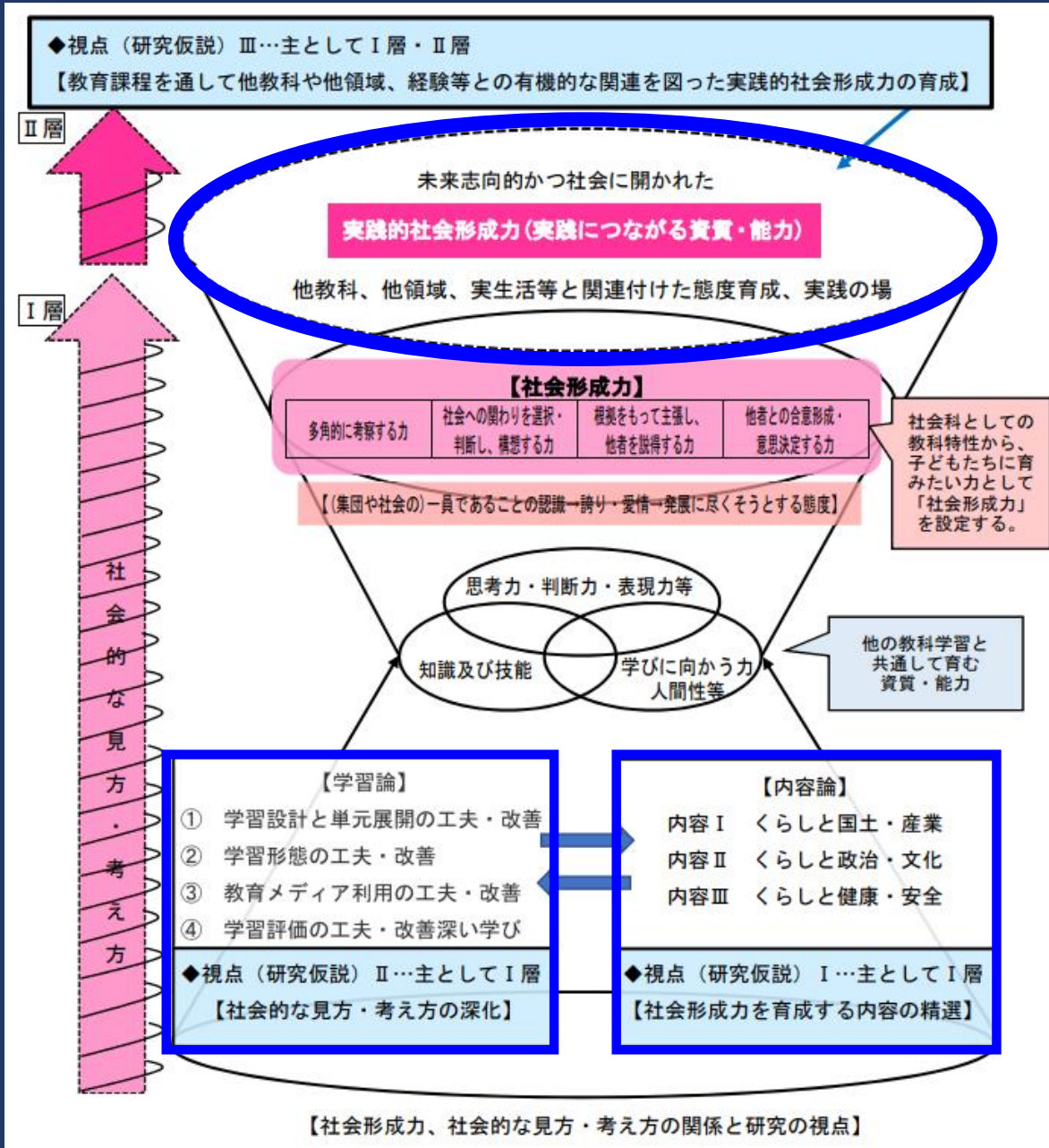
※よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎 = 社会形成力

※将来どのような社会をつくりたいかを考え、

そのために行動する基礎的な資質・能力として

※4つの要素の統合概念としてとらえる。

研究内容(全体構想)



研究内容

視点Ⅰ・・・主に内容知
(社会形成力を育成する内容の精選)の側面

視点Ⅱ・・・主に学習論
(社会的な見方・考え方の深化)の側面

視点Ⅲ・・・主に実践知
(教育課程を通して他教科や他領域、経験等との有機的な
関連を図った実践的社会形成力の育成)

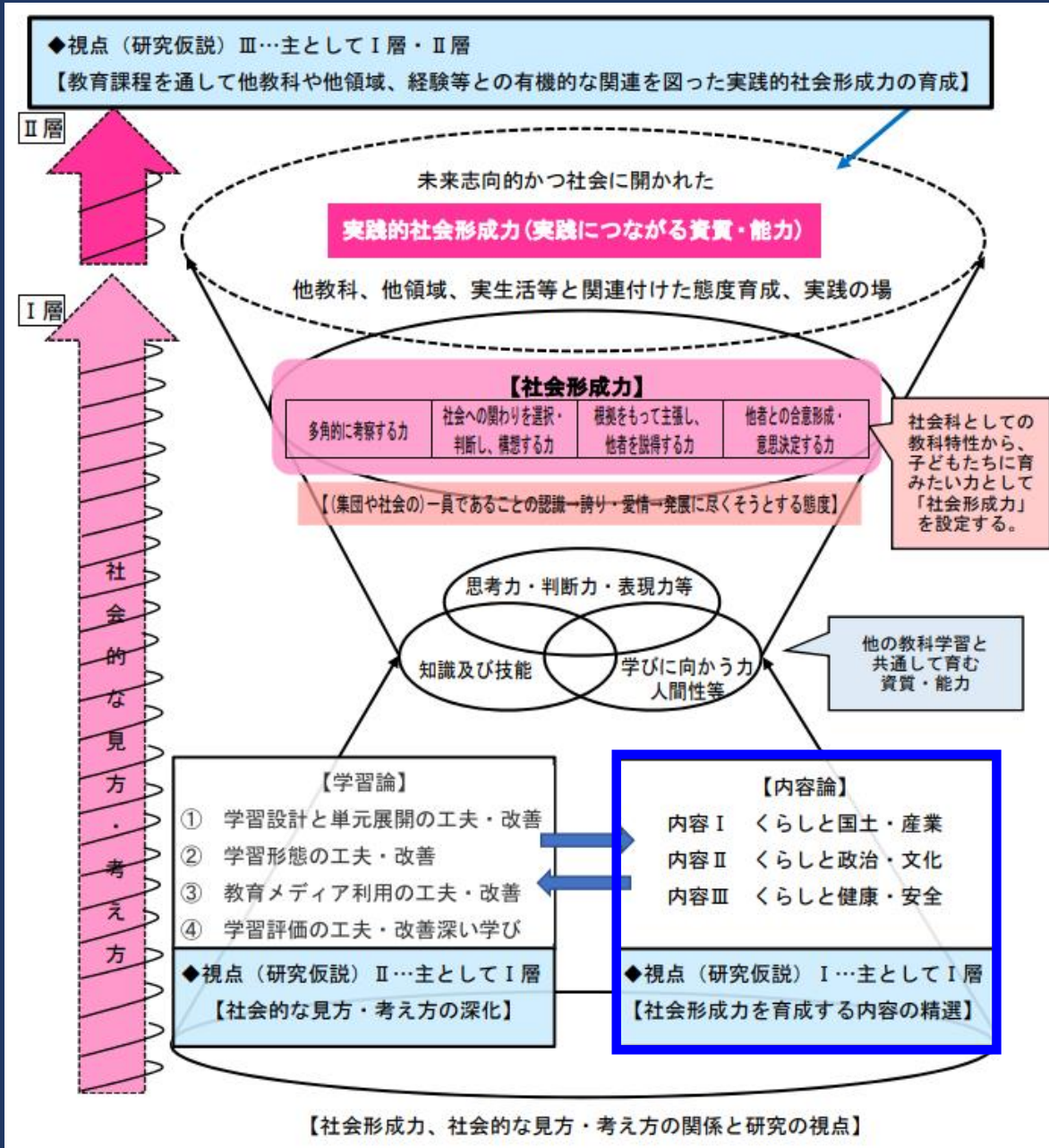
研究内容

視点Ⅰ・・・主に内容知
(社会形成力を育成する内容の精選)の側面

視点Ⅱ・・・主に学習論
(社会的な見方・考え方の深化)の側面

視点Ⅲ・・・主に実践知
(教育課程を通して他教科や他領域、経験等との有機的な
関連を図った実践的社会形成力の育成)

研究内容(全体構想)



研究内容

視点Ⅰ・・・主に内容知

(社会形成力を育成する内容の精選)の側面

社会形成力を育成するために必要な内容知及び

教材開発・学習材化、価値ある問い

- ◆ 地理的、歴史的、公民的見方・考え方と社会形成力につながる**内容の関連性**、
- ◆ 幼稚園教育要領、学習指導要領をもとにした
幼児期教育から生活科へ、そして生活科から社会科、
中学校社会科へとつながる**縦系列の内容分析**
- ◆ 社会形成力の視点から各教科書会社によって扱う事例、
共通して見られる用語、主な学習活動、
育てたい資質・能力等について**教科書分析**する。

研究内容

- ① 社会形成力を育てる地域学習（3・4年）
- ② 社会形成力を育てる国土理解・産業学習
（5年）
- ③ 社会形成力を育てる政治学習（6年）
- ④ 社会形成力を育てる歴史学習（6年）

① 社会形成力を育てる地域学習（3・4年）

② 社会形成力を育てる国土理解・産業学習
（5年）

③ 社会形成力を育てる政治学習（6年）

④ 社会形成力を育てる歴史学習（6年）

① 社会形成力を育てる地域学習（3・4年）

- ◆ 地域性を生かす視点
- ◆ 地域性を捉える視点
- ◆ 地域を理解するための基礎

「組織と自分」との関わりを通して、「私たちのまちには、いろいろな組織があり人々が安全に健康に生活できるようにしている」
ことについて理解する

研究内容

- ① 社会形成力を育てる地域学習（3・4年）
- ② 社会形成力を育てる国土理解・産業学習
（5年）
- ③ 社会形成力を育てる政治学習（6年）
- ④ 社会形成力を育てる歴史学習（6年）

② 社会形成力を育てる国土理解・産業学習 (5年)

◆ 事実に基づいた社会集団としての意識の育成

国土の特色とともに、
そこで働く人々の姿や
各地の有機的な交流などを具体的に理解

研究内容

- ① 社会形成力を育てる地域学習（3・4年）
- ② 社会形成力を育てる国土理解・産業学習
（5年）
- ③ 社会形成力を育てる政治学習（6年）
- ④ 社会形成力を育てる歴史学習（6年）

③ 社会形成力を育てる政治学習（6年）

◆ 政治的・経済的活動などを捉え、
説明するための概念的な枠組み
＝見方・考え方の基礎を養うこと

社会生活に見られる
具体的な事例等を取り上げて
多角的・具体的に考えること

研究内容

- ① 社会形成力を育てる地域学習（3・4年）
- ② 社会形成力を育てる国土理解・産業学習
（5年）
- ③ 社会形成力を育てる政治学習（6年）
- ④ 社会形成力を育てる歴史学習（6年）

④ 社会形成力を育てる歴史学習（6年）

- ◆ 変化への認識を育てる
 - ◆ 歴史の進展における人間の役割への認識を深める
 - ◆ 集団の一員としての連帯感を高める
 - ◆ 意思決定の力を高め参加意欲を高める
-
- ◇ ある時代のある人物の行動を通して、学んだことが社会認識として現代の生活の中に通用するものとして捉えること。
 - ◇ それをもとに歴史的事象に対する社会認識が子どもたちに形成されること

社会形成力を育む社会科カリキュラム全体構想

内容Ⅰ・・・くらしと国土・産業

「持続可能な社会」の創り手を育てるために

内容Ⅱ・・・くらしと政治・文化

私たちの「伝統・文化」を守り、受け継ぐために

内容Ⅲ・・・くらしと健康・安全

私たちの「いのち」と「くらし」を守るために

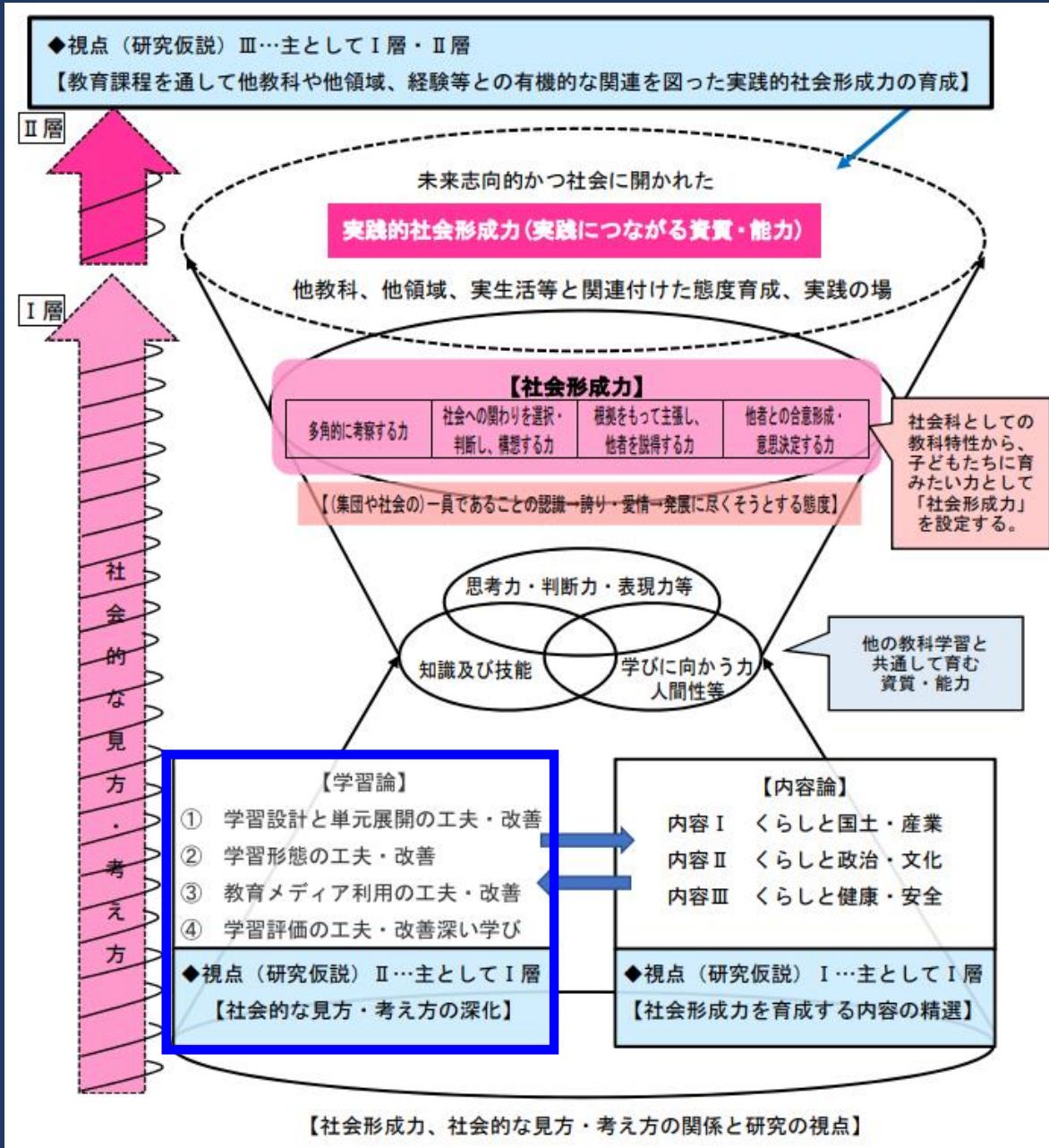
研究内容

視点Ⅰ・・・主に内容知
(社会形成力を育成する内容の精選)の側面

視点Ⅱ・・・主に学習論
(社会的な見方・考え方の深化)の側面

視点Ⅲ・・・主に実践知
(教育課程を通して他教科や他領域、経験等との有機的な
関連を図った実践的社会形成力の育成)

研究内容(全体構想)



学習論として

- ① 学習設計と単元展開の工夫・改善
- ② 学習形態の工夫・改善
- ③ 教育メディア利用の工夫・改善
- ④ 学習評価の工夫・改善

研究内容

視点Ⅱ…主に学習論

(社会的な見方・考え方の深化)の側面

社会的な見方・考え方を働かせた**深い学び**

学習意欲、指導の個別化・学習の個性化(**個と協働学習**)

思考操作と表現の重層化(ノート、板書)の視点

- ◆ 生きて働く知識・技能を習得
- ◆ 一人一人の子どもの社会認識を深める
- ◆ 深い学びの創造

深い学びの創造につながる学びのプロセス

研究内容

【本単元における知の構造化】

【目指す姿】

水は限りがある。この限りある資源を有効に使っていくことが大切だね。

水は、私たちの命に関わる。だからいつも安全で安心して飲めることはすごい。いつも完璧にする方法を学びたいな。

飲料水を確保するために、長い年月をかけて、多くの人々が連携し、計画的に整備をしたことが分かったよ。これまで受け継いできた資源をしっかりとして未来へつないでいきたいな。

生活が豊かになる「概念」

多くの人の手によって作られてきた水に感謝し、水を大切に使いしていきたいね。

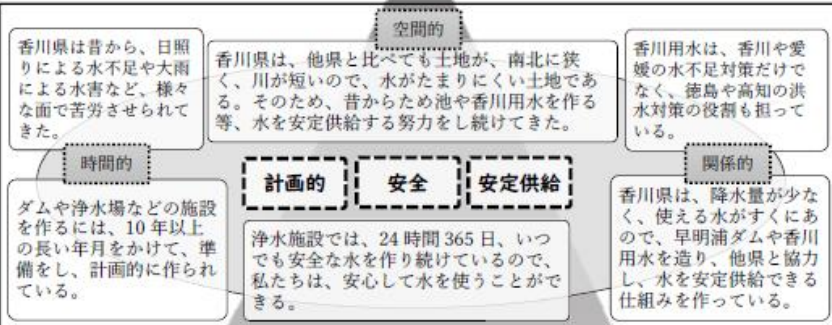
【内容のまとまりで獲得する知（概念）】

「人々の健康や生活環境を支える事業」

飲料水、電気、ガスを供給する事業や廃棄物を処理する事業は人々の健康や生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。

【単元の課題に対する解】

私たちの飲料水は、様々な機関の人が連携し、過去の経験や課題を克服し、24時間いつでも安全で安定的かつ計画的に供給されている。そのことが、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っている。



【断片的な知】

飲料水に関わる事業について、空間的・関係的な見方で見て、比較、関連、総合して考える。

水は森やダムから 川に流れ、浄水場から水道管を通じて学校や家庭へ送られている。

川の上流にあるダムは水を蓄えとともに、川の水量に応じて計画的に放水したり、発電したりする役割がある。

水は、生活や産業のいろいろな場面に使われる大切な資源である。

浄水場には、川の水をきれいにする仕組みがあり、そこで働く人々は、さまざまな工夫をしている。

水の循環

水の流れ
山→海

水はダムやタンクに貯める

香川
用水

水は浄水場で
きれいになる

多くの人の
協力が必要

浄水場の
仕組み

【生活知】（素朴概念）

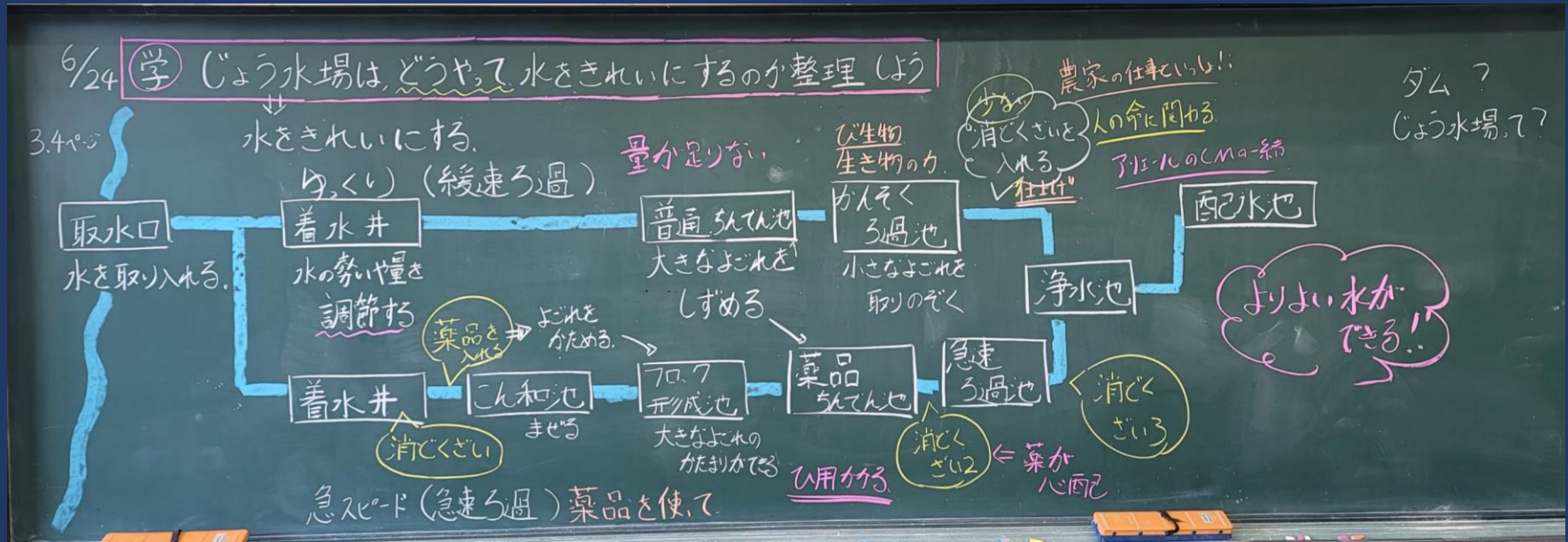
- ・蛇口からきれいな水が出る。
- ・きれいにしている所がある。
- ・海水が蒸発すると雲になり雨が降る。
- ・ニュースなどでダムの貯水量を伝えている。
- ・香川県はため池が多い。
- ・香川県は水が少ない。
- ・香川県は降水量が少ない。
- ・水は高い所から低い所に流れる。

素朴概念や既習知を手がかりに単元を構想する。

【既習知】

- 【3年】・【4年】
- 高松市の様子、香川県の様子
- 香川県や高松市の地理的環境の特色を理解している。
- 【3年】農家の仕事、店で働く人農家の仕事は、消費者の願いをかなえているために工夫して行われている。
- 【3年】火事や事故・事件からくらしを守る。
- 関係機関が連携して緊急時に対処する体制をとっていること。

研究内容



栲川ダムを造ることは必要？意味がある？

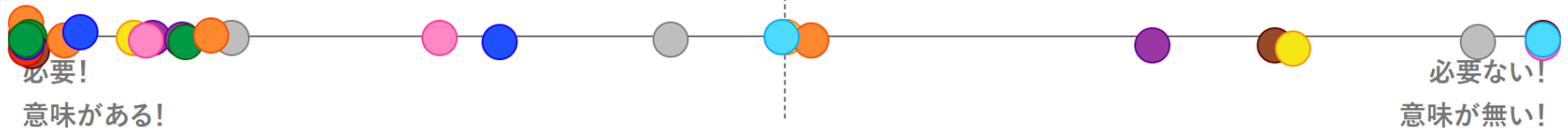
締め切り済み

回答済み 32人/33人

受付再開

並べる

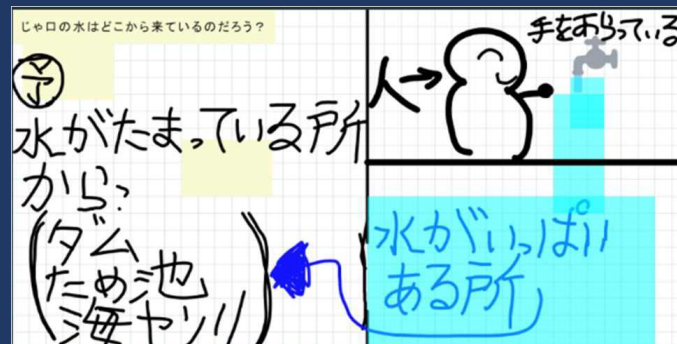
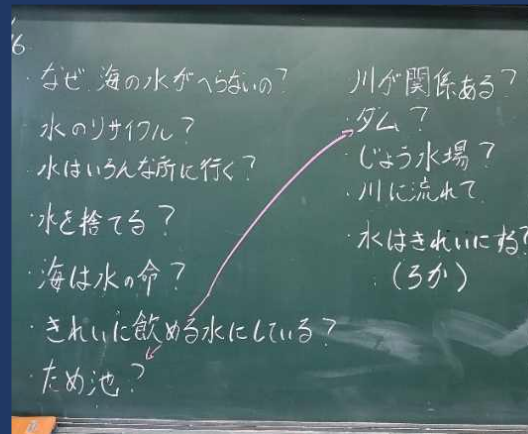
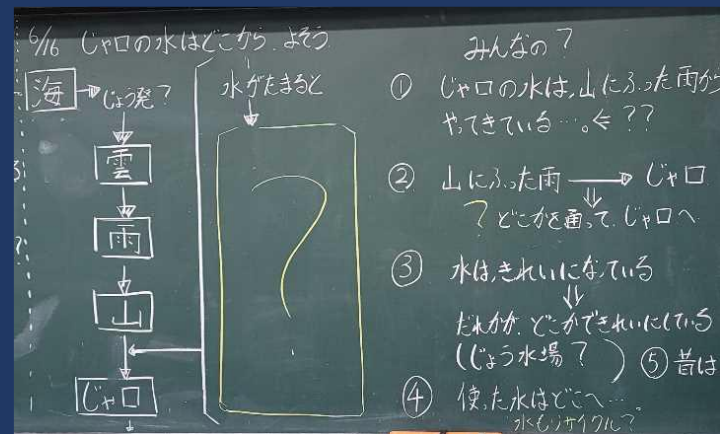
重ねる

☐ 回答者の名前を表示

深い学びの創造につながる学びのプロセス

第1段階（問題をつかむ場面）

◆ 子どものもつ既習知識、既有経験等をもとに、解決しようとする学習問題への見通しに対して、一人一人の子どもがもつ社会的な見方・考え方が明確にする。



深い学びの創造につながる学びのプロセス

第2段階（学習の展開場面）

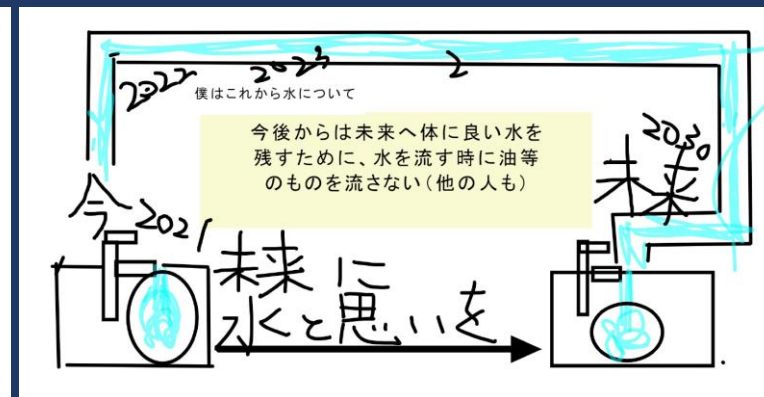
- ◆ 一人一人が習得した知識・技能をもとに個による調べ学習
話し合い活動（協働的な学び）を行い、
子ども同士、また多様な他者との関係性の中で、
前時までに習得した社会的な見方・考え方を深められるようにする。
- ◆ これまで身に付けた社会的な見方や考え方をういて、
他の事例を取り上げて学習を進めていく（転移・応用）
別の観点から再構成する（観点変更）することで、
社会的な見方・考え方を深め、広げていく。



深い学びの創造につながる学びのプロセス

第3段階（学習のまとめの場面）

- ◆ 単元を貫く学習問題に対する自分の考えを言葉や文章、図で表現したり、別の事例を取り上げて検証のための学習を行ったりしつつ、一人一人の社会参画への足かかりとする。
- ◆ 知識構造図の中に、新たな社会的な見方・考え方がどのように位置付けられ、知識がどのように変容していくのか、また別の社会的事象を取り上げて知識を更新する(再構成)ことによって、どのような社会的な見方・考え方が育まれるかを想定する。



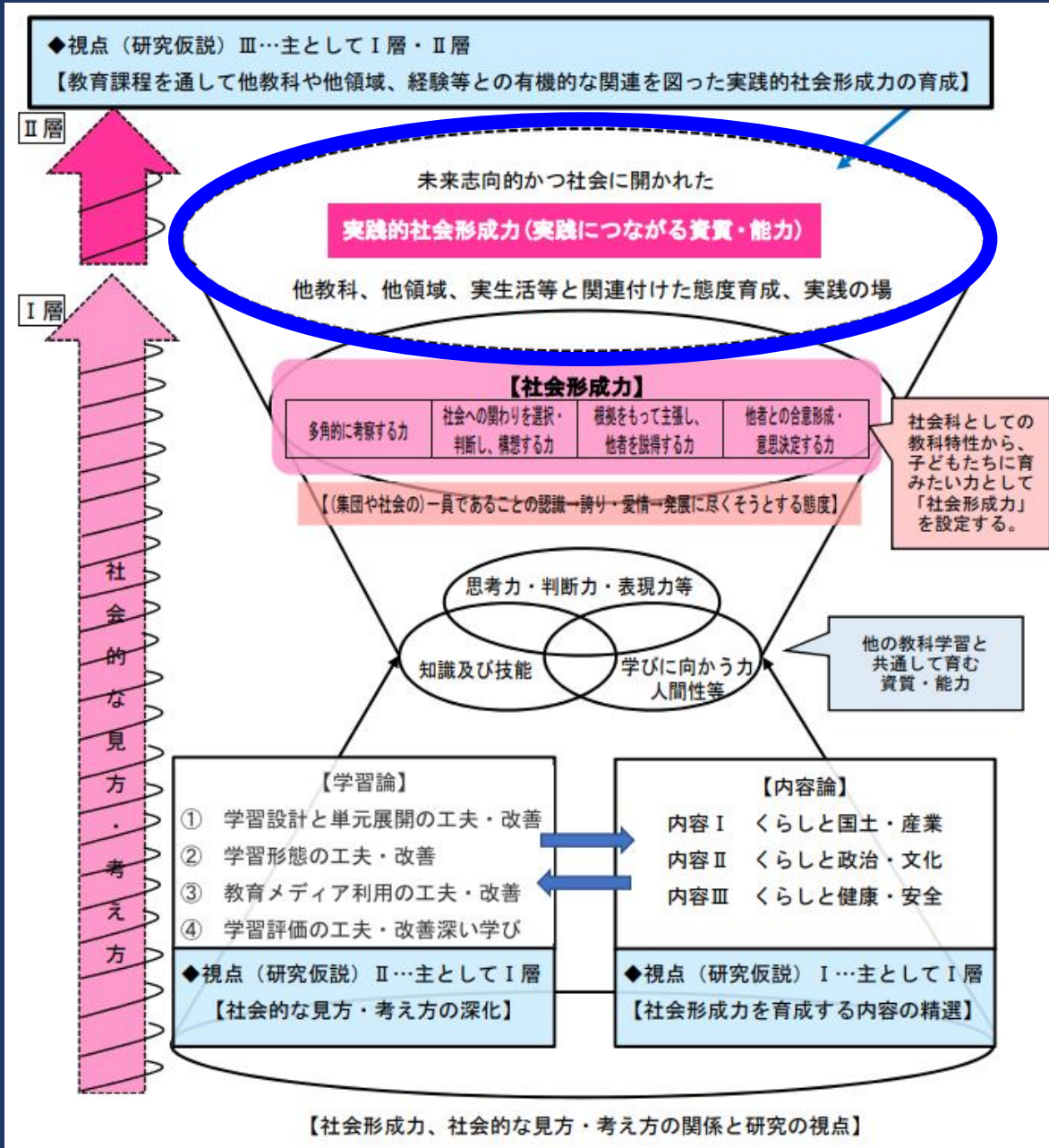
研究内容

視点Ⅰ・・・主に内容知
(社会形成力を育成する内容の精選)の側面

視点Ⅱ・・・主に学習論
(社会的な見方・考え方の深化)の側面

視点Ⅲ・・・主に実践知
(教育課程を通して他教科や他領域、経験等との有機的な
関連を図った実践的社会形成力の育成)

研究内容(全体構想)



研究内容

視点Ⅲ…主に実践知

(教育課程を通して他教科や他領域、経験等との有機的な
関連を図った実践的社会形成力の育成)

実践的な社会形成力育成への道筋の視点

- ◆ 教育課程全体を見通した大単元構想
- ◆ 他教科(国語科、生活科、特別の教科道徳等)及び
他領域(特別活動、総合的な学習の時間)との関連

実践的な社会形成力の育成を図る道筋の具体化